

浦和区の将来像の検討に向けたこれまでの取組及び市民意見

～ 目次 ～

- 1 総合振興計画とは
- 2 次期総合振興計画の構成と「各区の将来像」の位置付け（案）
- 3 浦和区の人口及び世帯の状況
- 4 浦和区の将来像の実現に向けたこれまでの取組（平成25～30年度）
- 5 浦和区に関する市民意見
 - (1) さいたま市総合振興計画市民ワークショップ（平成30年度）
 - (2) さいたま市民意識調査（～平成29年度）

1 総合振興計画とは

長期的な展望に基づき、

- 都市づくりの将来目標を示す
- 市政を総合的、計画的に運営するため、
計画や事業の指針を明らかにする

市政運営の最も基本となる計画

○都市づくりの基本理念

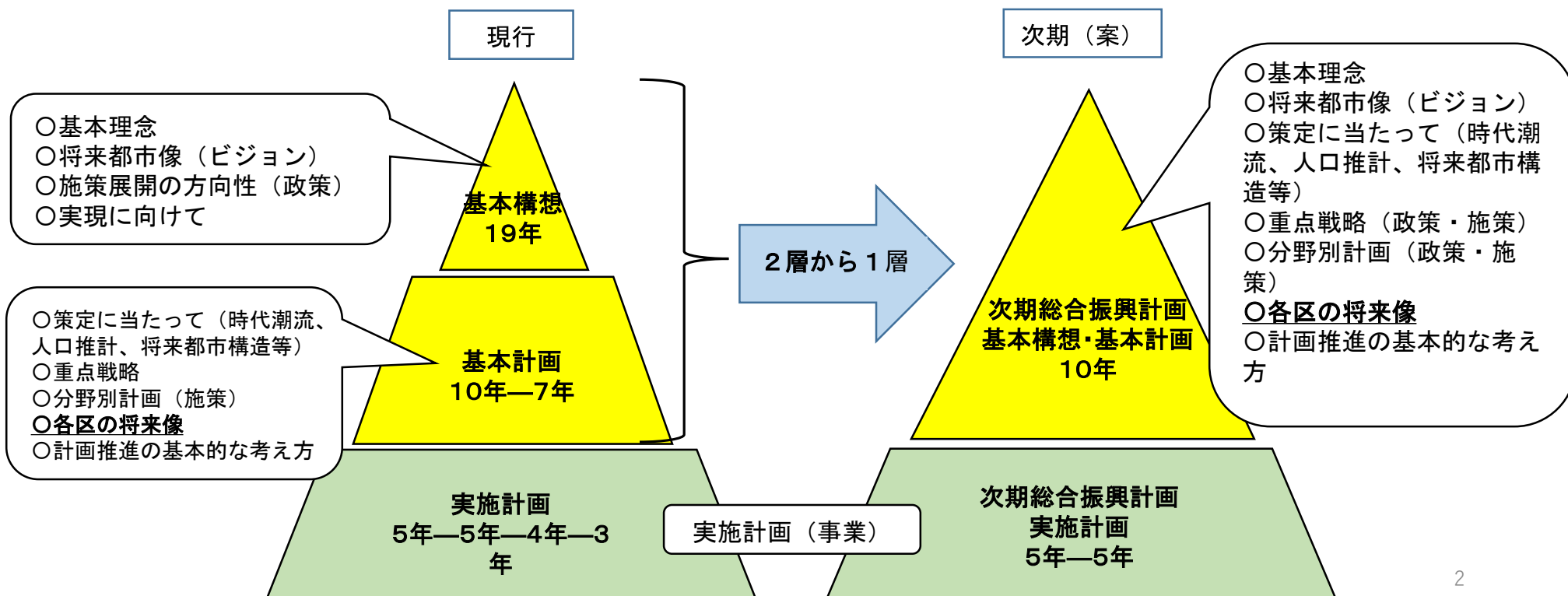
- 市民と行政の協働
- 人と自然の尊重
- 未来への希望と責任

○目指すべき将来都市像

- 多彩な都市活動が展開される東日本の交流拠点都市
- 見沼の緑と荒川の水に象徴される環境共生都市
- 若い力の育つゆとりある生活文化都市

2 次期総合振興計画の構成と「各区の将来像」の位置付け(案)

- ◆ さいたま市総合振興計画推進本部での策定基本方針の検討状況を踏まえ、現行の基本構想と基本計画を1層目にまとめ、その1層目に「各区の将来像」を位置付けます。
※さいたま市総合振興計画推進本部とは総合振興計画を推進・策定するために設置するもので、本部会議、幹事会、プロジェクトチームから構成されるもの
- ◆ 現行の「2020 さいたま希望のまちプラン」の基本計画に位置付けている「第4部 各区の将来像」と同様に、「**地域の特性を生かし、区民に身近なまちづくりを進めるための基本的かつ大きな方向性を示すもの**」として、10区の「将来像」と「まちづくりのポイント」を掲載します。



3 浦和区の人口及び世帯の状況

年齢別人口と構成比（H30.11.1現在）

		浦和区	さいたま市
人口総数(単位:人)		161,842	1,301,230
内訳 (構成比・%)	14歳以下	22,395(13.8)	171,948(13.2)
	15～64歳	106,206(65.6)	832,046(63.9)
	65歳以上	33,241(20.5)	297,236(22.8)

出典：さいたま市統計

世帯数と世帯平均人数（H30.11.1現在）

	浦和区	さいたま市
世帯数	73,252	589,948
世帯平均人数 (単位:人)	2.21	2.21

出典：さいたま市統計

4 浦和区の将来像の実現に向けたこれまでの取組

まちづくりのポイント	これまでの主な取組	
	区取組	他局取組
1. 世代や文化、地域を超えた多様な交流のあるコミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「自治会広報紙展」の開催 ・秋のごみゼロ運動と啓発キャンペーンの実施 ・市民活動団体の活動支援と「わくわく浦和区フェスティバル」の開催 ・区長と語る会の開催 	
2. 文教都市などの「浦和ブランド」を活用した魅力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「うなぎのまち浦和」のPRと「浦和うなぎまつり」の開催 ・女子サッカー教室の開催と小学校サッカー大会への支援 ・「浦和区文化の小径マップ」を活用したウォーキングイベントの開催 ・子どもがつくるまち「ミニ浦和」の開催 ・「浦和区絵画作品展」の開催 ・「浦和区内小・中学校校長と区長との懇話会」の開催 ・「浦和うなこちゃんメッセージうちわ展」の開催 	
3. 東西が連携し、一体性と「にぎわい」のあるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「浦和区民まつり～世代を超えて“つながる浦和”～」の開催 ・まちなのにぎわいを創出（商店街街路灯等へのサッカーフラッグの掲出） 	
4. ひとにやさしい誰もが安心して暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全対策事業の実施（通学路の道路表示・小・中学校で交通安全横断幕の掲示・小学校新1年生に冊子配布・高齢者交通安全教室・街路灯のLED化） ・防犯のまちづくり事業の推進（防犯講演会の開催・振り込め詐欺及び自転車盗難予防啓発・青色防犯パトロールの実施） ・防災対策事業の推進（避難所運営訓練及び公民館の避難所訓練の支援・避難所案内看板の設置） ・「子育て応援サロン」の開催 ・「高齢者支援事業の推進（高齢者向けうんどう教室・認知症カフェの開催）」 ・「妊娠・出産包括支援事業」の実施 ・「浦和区健康まつり」の開催 ・「浦和区ウォーキング教室」の開催 ・「生活習慣病予防教室（うらわメタ防クラブ）」の開催 ・「学校等と連携した健康づくり・食育教室」の開催 ・「がんの予防に関する情報の提供」 ・「生活自立・仕事相談センター浦和における相談及び支援の実施」 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通バリアフリー推進事業（駅ホームドア設置補助） ・認可保育所整備事業 ・帰宅困難者対策事業 ・道路環境整備事業 ・下水道浸水対策事業（雨水貯留施設の整備）
5. 緑豊かな美しい街並みとゆとりある住環境を創出するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・浦和の花「ニチニチソウ」の植栽活動と配付 	

5 浦和区に関する市民意見

(1) さいたま市総合振興計画市民ワークショップ

良いところ（強み）

- 東京への交通の利便性
- 文教都市として有名で教育面では安心
- サッカーで有名
- 駅前の商業施設が充実している
- 治安が良い
- 子供が多い

改善が必要なところ（弱み）

- 商店街の衰退
- 保育園、学童（放課後児童クラブ）の不足
- 大きな公園や自由に遊べるスペースが少ない
- 駅周辺の環境（自転車、渋滞）
- うなぎはそこまで有名じゃない
- 通学路など危険だと感じるところが多い

「浦和区のまちづくりのポイント」について ～今後どういったことに重点的に取り組んでいったらよいか～

- 地域コミュニティのためのイベント
- 外国人の積極誘致（定住者の増加）
- うなぎ以外の名産品のアピール
- 市役所の広場の有効活用（イベントを増やす）
- 保育所の整備、保育士の確保。または子供と高齢者のマッチング
- 子供と高齢者の交流イベント
- その他ベッドタウンとの差別化
- 新たな住人達の入りやすい地域活動
- 学校の強化（ソフト面、ヒト、コト）

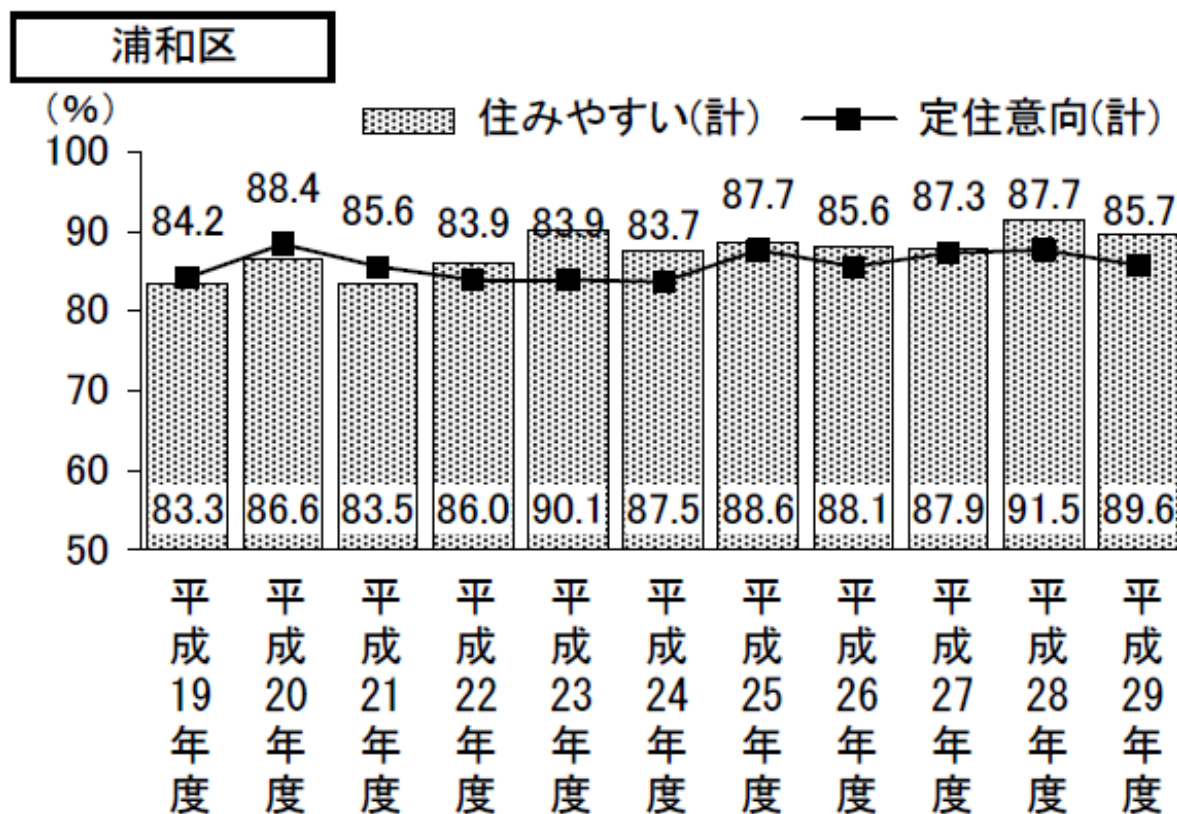
(2) さいたま市民意識調査

さいたま市市民意識調査とは・・・

広聴活動の一環として、施策に対する市民の意向等を把握し、今後の市政運営の参考とするため、市民意識を調査するもの

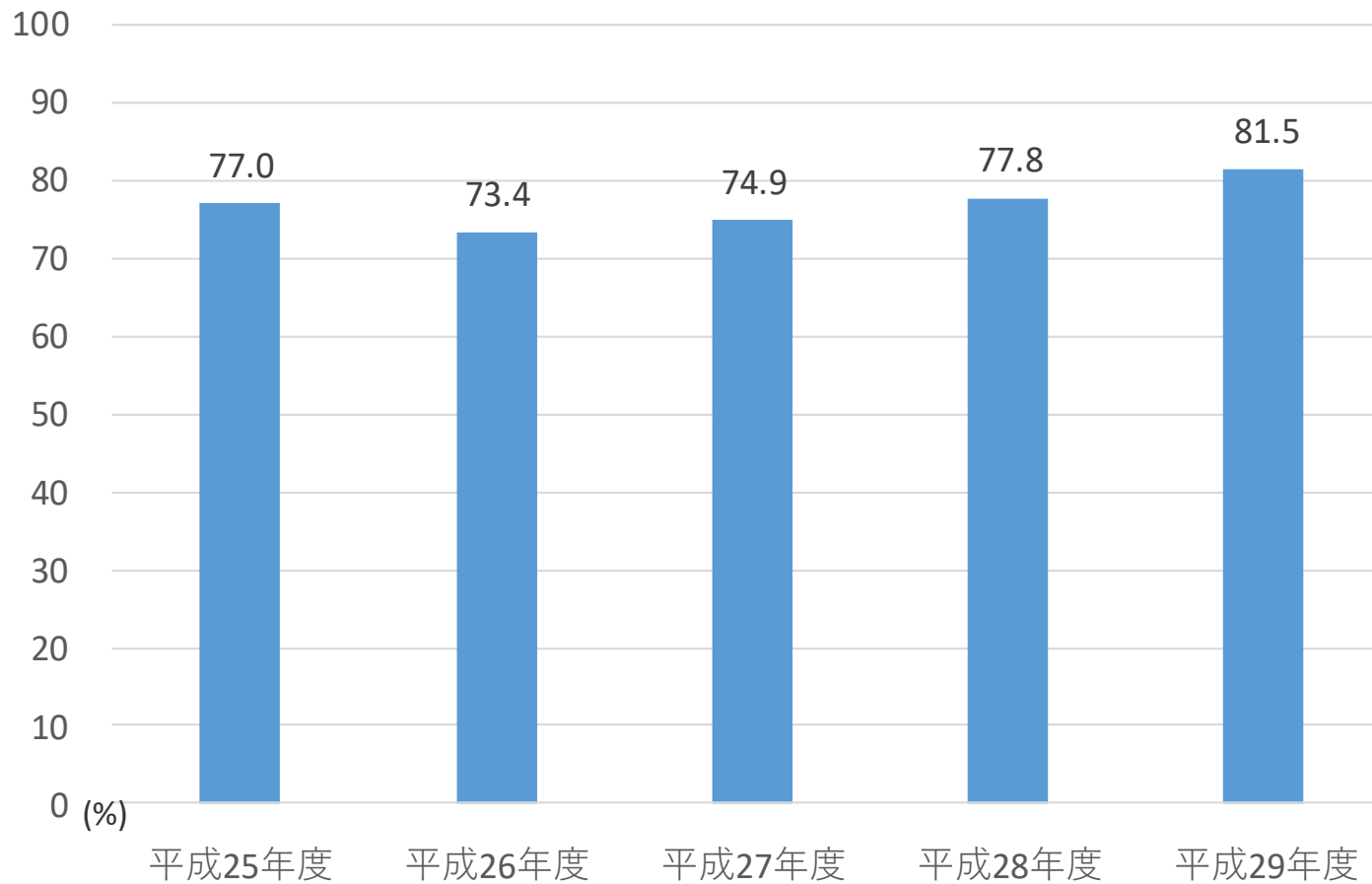
○住みやすさと定住意向

問 あなたがお住まいの「地域」の住み心地はどうですか。
あなたは、現在お住まいの地域にこれからも住みたいと思いますか。



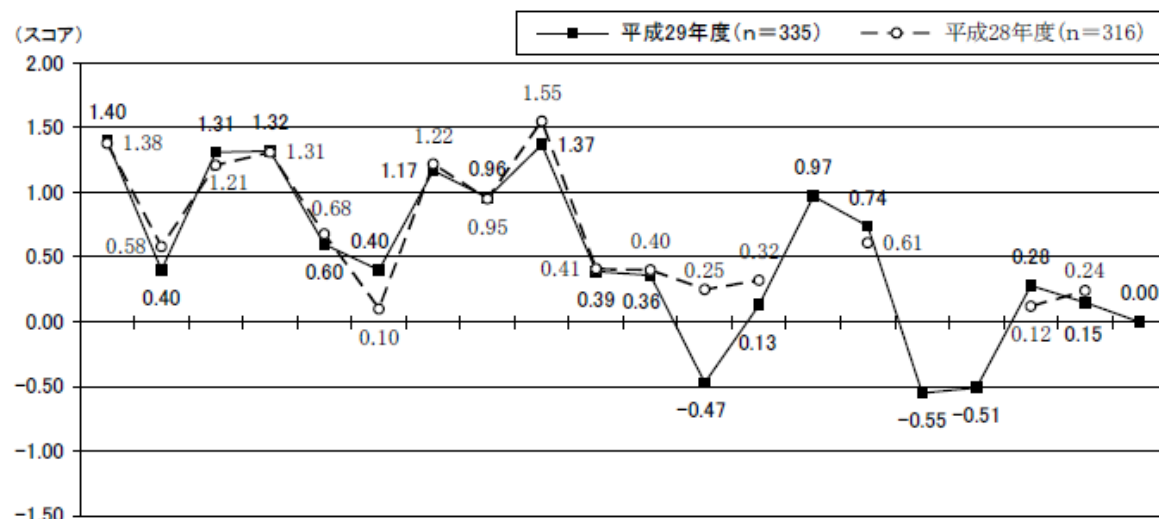
○生活満足度【浦和区】

問 あなたは今の生活に満足していますか。



○居住地のイメージ【浦和区】

問 あなたはお住まいの「地域」が、どのような地域だと思いますか。



※スコアは、各項目に下記の得点を与え、回答者数で加重し、平均得点を求めたもの。

あてはまる+2、ややあてはまる+1、あまりあてはまらない-1、あてはまらない-2

浦和区のイメージをスコアでみると、「電車の便がよい」(1.40)が最も高く、次いで「自然災害による被害が少ない」(1.37)、「ふだんの買い物に不自由しない」(1.32)、「よく使う駅まで行きやすい」(1.31)の順であった。

一方、マイナス項目は少なく、「人に勧められる名所や名物がある」(-0.55)、「楽しみにしている地域のイベントがある」(-0.51)、「空気や川の水がきれい」(-0.47)が低くなっている。

平成28年度の調査結果と比較すると、「安全に通れる道路が多い」が0.30ポイント増加している。

	【利便性】					【安心・安全】					【快適さ】					【親しみ】				
	電車の便がよい	バスの便がよい	よく使う駅まで行きやすい	ふだんの買い物に不自由しない	趣味や学びごとをするのに不自由しない	安全に通れる道路が多い	治安がよい	医療機関を利用しやすい	自然災害による被害が少ない	地域で災害に備えている	身近に緑や自然がある	空気や川の水がきれい	騒音が少ない	自宅の周辺が清潔に保たれている	身近な場所で気軽に散歩や運動ができる	人に勧められる名所や名物がある	ある	近所で親切な人を見かける	家族や友人と楽しめる場所がある	身近にホッと心が休まる場所がある
29年度	1.40	0.40	1.31	1.32	0.60	0.40	1.17	0.96	1.37	0.39	0.36	-0.47	0.13	0.97	0.74	-0.55	-0.51	0.28	0.15	0.00
28年度	1.38	0.58	1.21	1.31	0.68	0.10	1.22	0.95	1.55	0.41	0.40	0.25	0.32	-	0.61	-	-	0.12	0.24	-

※(注記1)「趣味や学びごとをするのに不自由しない」は、平成28年度調査では「仕事や学校をいろいろ選べる」としていた。

(注記2)「自然災害による被害は少ない」は、平成28年度調査では「風水害による被害が少ない」としていた。

(注記3)「地域で災害に備えている」は、平成28年度調査では「災害時に地域で助け合える備えがある」としていた。

(注記4)「空気や川の水がきれい」は、平成28年度調査では「空気や川などの環境が守られている」としていた。

(注記5)「近所で親切な人を見かける」は、平成28年度調査では「近所に顔見知りが多い」としていた。

(注記6)「家族や友人と楽しめる場所がある」は、平成28年度調査では「家族や友人と楽しめる場所がいくつもある」としていた。